

第15回北九州市迷惑行為防止推進協議会 議事要旨

- 1 日時：平成25年8月7日（水）14:00～15:00
- 2 場所：北九州市役所本庁舎 3階 大集会室
- 3 議事：平成24年度事業報告について
平成25年度事業計画及び予算
- 4 出席者：大坪会長、豊川副会長、太田委員、甲斐委員、加藤委員、樋口委員、前田委員
計7名（3名欠席）
- 5 議事

主な意見は以下のとおり

◆市政モニターアンケートの結果について

○重点地区、推進地区の認知度が下がっているのは、どの辺に問題があるのか。

（事務局）重点地区、推進地区の認知度については、まだ分析できていないので、今後、さらに周知・啓発方法を工夫していかなければならないと考えている。

○推進地区の認知度は30～40代が低い。他の年代が、どうやって推進地区のことをどうやって知ったのかを今後の統計に取り入れ、なぜこの年代が知らないのか、情報に接する機会の少なさ等の理由が分かれば資料をつけていただきたい。

○30～40代は、自分の住んでいる地域への関心が一番薄くなってしまうのか、あるいは、この年代の方たちに届く仕組みが弱いのかもしないので、今後の取り組みに活かしていきたい。

◆周知・啓発について

○JRでの音声案内の広報を聞いている人はいつも聞いているが、マイカー利用者や駅を通過する人には、全く耳に入っていない人もいるのではないかと、仕事が忙しい方や若者などはあまり見る機会がないのではないかと感じる。

◆モラル・マナー啓発用DVDの活用について

○迷惑行為をしないという意識を醸成する「人づくり」に取り組むためにも、モラル・マナー啓発用DVDを家庭教育学級等を開く際に見てもらおう等、様々な方法でより多く活用していただくためにも、もっと広く周知してほしい。

◆平成25年度 市民意識調査について

○前回調査がモラル・マナーの取り組みが開始時期なので、初期の状態と比べて、市民の方から見て、どのような意識の変化があったのか、来年度の取り組みに向けて、どのような修正をすべきかを考えていくことになろうかと考える。

○携帯をしながら歩くと視野が30センチしか見えなくなるそうで、この状況で歩くとぶつかりそうになる。この状態で横断歩道を歩いている人がいて、自分自身も気をつけないといけな行為に入る。携帯をしてもいいけれど、迷惑にならない使い方をしてほしい。現在、14の迷惑行為の中には入っていないが、今後、携帯電話等の行為が今後増えていくと思う。

(事務局) 今回の調査では、条例上の迷惑行為に加え、この5、6年の間にいろいろ考え方が変わってきているのではということで、その他の項目の事例で「歩きスマホ」「自転車スマホ」等を上げている。

◆その他

○タクシーに乗った際に、運転手の方に北九州市のモラルについて聞くと、ほとんどの方が「よくなっている」と答える。また、ゴミを捨てる人は減ってはいないが、拾う人は増えたので、町が綺麗になった。北九州市全体のマナーは、この5年くらいで変わっているのではないかと実感している。

○アメリカ等では、ボランティアは表彰制度がきっかけとなっていることが多いと聞く。取り組みの中で、表彰制度のようなものを取り入れて、マナーを頑張れば表彰されるというようなことがあってもいいのではと思う。

◆会長まとめ

○2年前からこの協議会で、市外の方も過料の適用になるケースになることを繰り返し指摘をして、市外の方への周知の取り組みについても変えてきている経緯がある。駅のアナウンス、空港での飛行機利用者に対する周知方法の工夫してきている。今後も同じような方法で取り組みの強化に努めていただきたい。

○新しい取り組みとしてのアイデアで、具体的なものに進めることができるものがあれば、次回の協議会で伺い、実施できるものがあれば適切に実施していただきたい。